

2011  
6月25日  
(年7回25日発行)  
第417号

緑化樹木の  
情報紙

# 緑化通信

昭和54年12月7日第三種郵便物認可  
発行所  
社団法人 日本植木協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階  
TEL (03)3586-7361 FAX (03)3586-7577  
購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。  
年間購読料 5,000円

## 第62回全国植樹祭わかやま2011

### 天皇・皇后両陛下ご臨席のもと 五月二十二日に和歌山県で開催

昭和二十五年に始まった「全国植樹祭」は今年で六十二回目となり、五月十二日に天皇、皇后両陛下をお迎えし、和歌山県で開催された。本協会では水城清志会長が招待者として記念式典に参加した。



ウバメガシ、ヒノキ、ナギをお手植えされる天皇陛下



クマノミズキ、トガサワラをお手植えされる皇后陛下

全国植樹祭は「国民の森林に対する愛情を培うことにも、国土の保全、森林資源の確保、環境緑化の推進に寄与すること」を目的として、国土緑化運動の中心的な全国行事として毎年開催されている。本植樹祭の主催は国土緑化推進機構と和歌山県。

当日の記念式典では、天皇皇后両陛下によるお手植え及びお手植えが行われた。参加者全員が事前に配布された竹ポットに記念植樹した。最後に和歌山県議会議長の閉会のことばをもち、滞りなく終了した。

三月十一日に発生した東日本大震災は、発生後三カ月を経過してもなお、被災状況の全容が完全に把握できないほどの状況で、更上まれにみる広範囲にわたる激甚災害となりました。この未曾有の大災害に対して、当協会を始め造園・環境緑化関係団体では、それぞれ様々な復興支援活動を進めていますが、その動きとしては、現在のところ、以下のとおりです。

(1) 協会では、会長等三役が被災会員のお見舞いと激励のため現地に向い、その後、顧問や林野庁に状況説明して今後の対処についての協力をお願いしてまいりました。

(2) 理事会の決議により、当協会としては、莫大な被災会員五社団に対しては、協会から「お見舞金」贈呈及び年度会費の免除を実施する他、会員の皆様から義援金を募集することになりましたが、六月十七日現在で、四〇二千円の義援金の拠出をいただいております。集まった義援金の配分等については七月の理事会で決定する予定になっております。

(3) 原発事故に係る補償に関しましては、避難に伴う営業の損失や風評被害の賠償の発生に伴い、緑化木等の販売に係る風評被害の報告が協会に寄せられていますが、この度、林野庁から緑化木等の出荷に当たっての留意事項等としてQAが別掲のとおり示されました。

(4) 当協会では、林野庁、連絡会議等の情報を逐次被災会員に提供するとともに、被災会員からの要望や情報を聴取し林野庁に伝える等林野庁と連携して被災会員に対する支援を続けて行くこととしております。

## グリーンウェイブ2011 参加事例①

### 緑育出前授業 in 御所見 みんなで緑の波を作ろう

社団法人日本植木協会青年部会神奈川支部

青年部会神奈川支部は、五月二十二日(日)、神奈川県藤沢市にある「Aさまがみ・緑化流通センター」敷地内で、緑育出前授業と二体となったグリーンウェイブを開催した。神奈川県内の小学生三十四名およびその保護者、総勢七十名の参加があった。

当日、神奈川県環境部スタッフ十四名は、今回新しくお預りのオレシンのポロンチャツに身を包み、午前七時半に集合した。諸準備を終え、



スタッフで分担作成したテキストを使って緑育出前授業

八時五十分に参加者を待たせ、その後九時より、J長 福岡様に挨拶いただき、イベントを開始した。



緑育出前授業で、各スタッフが分担制作したテキストをもちこいた。

「私達の仕事紹介」、「地球環境における緑木の大切さ」などをわかりやすく説明した。

その後、在来種である「シラカシ」を青年部会員が、実際に掘り取り、根巻きをし、植樹する作業を披露し

その後、グリーンウェイブの趣旨である現地時間午前十時に向け、子供達が神奈川県ゆかりの木、シラカン、サルスベリ三種、テラテモモ三種、コニファー四種を植え、全員でカウントダウンし、定刻に一斉に水やりを行った。そして地球の自転と共に東から西へ世界に広がる「緑の波」が

「植木屋さんのお仕事体験」ブルーベリー鉢上げとドワダンツツジ根巻き

行ってもらった。作業終了後、支部長挨拶でイベントは終了した。各々体験作業で使用した苗をお土産に帰路についた。スタッフは、片づけや支柱の取付作業を行い、すべてを終了した。

当日回収したアンケートでは、低学年は「木を植えるのが楽しかった、難しかった」等、実際に作業したことについての感想が多岐を占め、中高学年は、「植木屋さんのお仕事がわかってよかった」等、うれしい感想が多岐であった。保護者から「もっと緑育が広まればいい」との意見もあった。

(7・8面に関連記事、ホームページで当日までの流れも掲載)



神奈川県ゆかりの木を記念植樹



午前十時に植樹した苗木に水やり

「ネットワーキング検討会」の対応として、①現物の提供、②寄付金等や事業活動として提供、③人的支援の提供の他、④仮設住宅にコミュニティ広場をつくり環境改善を提案する等知恵の提供もあること、また、単年度だけでなく四、五年程度又はそれ以上の中期にわたる継続性のある支援が必要であること、さらに、要望のすべてに対応出来ない場合は、現地との話し合いの上、波及効果のある所にモデル的な支援を行うこと(2面へ続く)

## 東日本大震災の復興支援について

### 復興支援について

東日本大震災「花とみどり」の復興支援ネットワーク検討会議」及び花き関係の団体が中心となった「東日本大震災復興支援活動情報連絡会議」がそれぞれ立ち上げられています。

このうち、造園関係団体を中心とした「ネットワーク検討会議」の検討状況については、ア 参加団体が、それぞれの支援活動について情報交換をいたしました。

イ 地方公共団体からの具体的な支援要望を聴取したところでは、①花苗、球根、肥料、土、スコップ、プランター等のカーデニング用品、②街路樹や公園への苗木提供、③サッカーボール等の提供、④公園遊具の提供等の要望がありました。

ウ この要望に対し、「ネットワーク検討会議」の対応として、①現物の提供、②寄付金等や事業活動として提供、③人的支援の提供の他、④仮設住宅にコミュニティ広場をつくり環境改善を提案する等知恵の提供もあること、また、単年度だけでなく四、五年程度又はそれ以上の中期にわたる継続性のある支援が必要であること、さらに、要望のすべてに対応出来ない場合は、現地との話し合いの上、波及効果のある所にモデル的な支援を行うこと(2面へ続く)

「一面から続く」  
と多数の意見が提案  
されました。  
工 本協会からも、復興  
支援策として会員から  
提案されている、安藤  
忠雄先生から話のあっ  
た「緑の森(公園)」「  
建設や「サクラ」○○  
万本植樹計画」につい  
て紹介しました。  
オ 今後、被災地等の地  
方公共団体を会員とし  
ての公園緑地協会の  
「ネットワーク検討会  
議」の窓口となり、被  
災地の地方公共団体及  
び参加団体との調整を  
図りながら、「ネット  
ワーク検討会議」とし  
て具体的な支援活動を

検討することになりま  
した。  
カ また、長期的な支援  
が必要となる「みどり  
公園緑地協会」連泊ホ  
ムページを立ち上げ、  
それぞれの参加団体が  
リンクして情報の共有  
化を図ることとしてま  
した。  
日本造園学会  
: http://www.landscaparc  
hitecture.or.jp/od/astqm  
enid=1258  
公園緑地協会  
: http://www.posa.or.jp/o  
ulines/sub\_jigyou\_chousa  
\_shinsei.html

緑化木や苗木に  
ついでにQ&A  
このため、福島第一原子  
力発電所周囲の緊急時避難  
準備区域内で、現在埋め置  
れる放射線レベルでは樹木  
に影響はみられず、植栽木  
は健全に生育すると思われ  
ます。  
Q2 緊急時避難準備  
区域内で緑化木や苗木の生  
産作業や出荷作業を行う  
際「みどり香るまちづくり」留意  
した方がいいですか。

Q1 緊急時避難準備  
区域内から供給された緑化  
木や苗木を植栽しても健  
全に生育しますか。  
答 樹木の生育に対する放射  
線の影響は樹種によって異  
なりませんが、樹木は人間よ  
りも数十倍影響をうけるに  
くることがわかっています。  
このため、福島第一原子  
力発電所周囲の緊急時避難  
準備区域内で、現在埋め置  
れる放射線レベルでは樹木  
に影響はみられず、植栽木  
は健全に生育すると思われ  
ます。

Q3 緊急時避難準備  
区域内で緑化木や苗木の生  
産作業や出荷作業を行う  
際「みどり香るまちづくり」留意  
した方がいいですか。  
答 樹木の生育に対する放射  
線の影響は樹種によって異  
なりませんが、樹木は人間よ  
りも数十倍影響をうけるに  
くることがわかっています。  
このため、福島第一原子  
力発電所周囲の緊急時避難  
準備区域内で、現在埋め置  
れる放射線レベルでは樹木  
に影響はみられず、植栽木  
は健全に生育すると思われ  
ます。

環境省  
平成23年度感覚環境のまちづくり  
検討会「第一回かおり環境部会」  
四月二十二日(十三時よ  
り、経済産業省別館101  
四号会議室にて、環境省草  
成二十三年度感覚環境のま  
ちづくり検討会「第一回か  
おり環境部会」が開催され  
、今年度「かおり環境部会」  
として出席した。  
一、二十三年度「みどり香  
るまちづくり」企画コン  
テスト実施について  
①今年より日本植木協会  
が主催団体に加わり、日  
本植木協会新設が承認  
され、協賛金は三割に増  
える。  
②本コンテストを東日本大  
震災復興の支援に資する  
ものにした。窓口を拡  
大する。  
・二十四年一月に表彰式  
を開催する。  
・五月下旬(十三日)に  
募集期間  
・十一月(中旬)に表彰式  
を開催する。  
・第二回かおり環境部会に  
て議考

「みどり香るまちづくり」企画コンテスト  
四月二十二日(十三時よ  
り、経済産業省別館101  
四号会議室にて、環境省草  
成二十三年度感覚環境のま  
ちづくり検討会「第一回か  
おり環境部会」が開催され  
、今年度「かおり環境部会」  
として出席した。  
一、二十三年度「みどり香  
るまちづくり」企画コン  
テスト実施について  
①今年より日本植木協会  
が主催団体に加わり、日  
本植木協会新設が承認  
され、協賛金は三割に増  
える。  
②本コンテストを東日本大  
震災復興の支援に資する  
ものにした。窓口を拡  
大する。  
・二十四年一月に表彰式  
を開催する。  
・五月下旬(十三日)に  
募集期間  
・十一月(中旬)に表彰式  
を開催する。  
・第二回かおり環境部会に  
て議考



今回の原子力発電所の事  
故によって生じる被害につ  
いては、一般論として、事  
故と相当の因果関係が認め  
られるものについて、原子  
力損害賠償法に規定する法律  
に基づき適切な賠償が行わ  
れることとなります。  
なお、風評被害に係る賠  
償の賠償は、原子力損害賠  
償紛争審査会において、今  
後検討されることとなりま  
す。  
Q4 風評被害で価格が  
下落し、所得が減少した  
ことについては、賠償の  
対象となりますか。  
答 賠償の対象となること  
は、政府の避難等の指示  
があったことにより、農業  
等の事業の継続に支障が生  
じた場合は、この場合、事  
故と相当の因果関係が認め  
られるものについて、原子  
力損害賠償法に規定する法律  
に基づき適切な賠償が行わ  
れることとなります。

良好なかおり環境を創出  
しようとする地域の取組  
を支援することを旨とし  
ます。  
・良好なかおり環境(下り、  
清流感や心安らぐような  
空間を、また、季節のう  
つろいを感じられるよう  
な空間を創出します。  
・かおりの伝統をいかした  
みどり香るまちづくりを  
行います。  
・二酸化炭素の吸収源とな  
る「かおりの樹木・草花」  
を積極的に利用すること  
により地球温暖化防止に  
もつなげる「みどり香る  
まちづくり」を進めます。  
・東日本大震災等の災害復  
興に資する「みどり香る  
まちづくり」も支援しま  
す。  
②企画コンテスト概要  
・募集主体  
・主催：環境省、共催：公  
社、かおり環境  
協会、助日本アロマ環境  
協会、助日本植木協会  
・応募主体  
・地方公共団体、民間企業、  
学校法人、商店会、町内  
会等の住民団体やNPO  
など  
・かおりの樹木・宿根草・  
その他の草花(花木に限  
らず芽吹きのかおりのす  
る樹木等を含む)、複数の  
樹種も可)を原則として  
一五〇本(株)程度以上  
(かおりの樹木三〇本程  
度以上を含む)を用い、  
街区・近郊地区等の「み  
どり香るまちづくり」を  
演出する企画を募集しま  
す。  
③表彰  
・環境大臣賞(二点)  
・表彰状、副賞として企画  
に応じたかおりの樹木等  
の一部を提供  
・入賞(五名以内)  
・表彰状、副賞として企画  
に応じたかおりの樹木等  
の一部を提供

新樹種部会出前講演  
「新樹種の紹介と効果的な利用法」  
四月六日(午後十三時三  
十分)より東京都中央区の柏  
ランドスケープコンサル  
タンツ協会・公議室にて、新  
樹種部会、生産育種小委員  
会による出前講演が開催さ  
れた。柏ランドスケープコ  
ンサルタンツ協会大塚守東  
会長(園芸学専攻)、枝吉茂  
枝吉茂種園東支部長(園芸  
ラック代表取締役)を  
はじめとする関東支部長  
等約二十名の参加があった。設  
計側および生産側双方の立  
場から活発な意見交換が行  
われ、初めての試みであつ  
た他団体への出前講演は、  
当初の目的であった協会及  
び新しい樹木のPRおよび  
相互理解を達成し、次年度  
以降の定期開催を望む等  
な意見交換が盛んに行われ  
た。セミナーは、ランドスケ  
ープコンサルタンツ協会・枝  
吉茂支部長の挨拶から始  
まった。枝吉氏は、今まで  
関係がなかったという  
両団体の初めての交流に期  
待を述べた。続いて、小林



小林隆行新樹種  
部会長あいさつ  
Q2 公共事業の設計業務  
では、自由度の高い民間  
設計業務とは違い、物備  
本に記載されている樹種  
からの樹種選択を強いら  
れる。物備本の樹種を選  
定しているが日本緑化セ  
ンター、または地方自治  
体緑地部会が多いが、他  
日本公園緑地協会への出  
前講演を積極的に引き、  
樹木に関する意識改革・  
最新情報の提供を行って  
ほしい。その結果、設計  
に組み込む樹種の選択肢  
が広がるのではないかと  
思うか。  
A2 生産者側のPR不足  
は、協会でも認識してい  
るので、今後同様な出前  
講演を行いたい。

閉会後の懇親会で  
は、昨今の設計業務  
や生産状況に関する  
意見交換の他、「今  
度は是非、現場を見  
ながらの質問もさせ  
て頂きたい。」との  
要望があり、十月開  
催予定の「新しい造  
園樹木の研修会」二  
内送付を約束した。  
また、造園業も協  
会員からは「協会  
(二級造園施工管理  
技士の会)での出前  
講演を提案して頂いた。  
今回は両協会各委員  
同士としての交流だった  
が、今後も「生産者から  
の生の声」を大切に、会  
員自身の広報スキルを  
磨きながら、委員会  
として生産育種の状  
況を把握し続ける方針  
を述べ、今後の協業や  
協会事業への発展する  
事を願っている。  
なお、今回のセミナー  
で利用したパワーポ  
イント資料は、新樹種  
部会でも活用可能であ  
る。使用希望の部  
会各位は事務局へお  
問い合わせ頂きたい。

Q3 十年前に発行された  
新樹種ガイドブックから  
卒業して物備本に掲載さ  
れるようになった樹種の  
数はどれくらいか?  
A3 定かではないが、約  
二〇種ではないかと推  
察する。本年十一月には  
新樹種ガイドブック改訂  
版を予定しており、個人  
庭園や公共施設などの  
記載も加えて発行予定  
である。  
Q4 設計見積もりがほ  
しい場合は、柏日本植木  
協会(問合せ)よりのか  
A4 使用現場の近くの協  
会に問合せ頂きたい。  
また、協会同士の情報  
交換は促進しているの  
で、問い合わせが増え  
ると、必要とされている  
樹種情報も多量に共有  
結果として必要とされて  
いる樹種の生産量を増  
やせることにつながる。  
といった質疑応答を行  
った。その他、個別の樹  
種の質問も多数あり、新  
樹種部会からの出席者が  
それぞれ質問に回答し  
て頂いた。

Q2 公共事業の設計業務  
では、自由度の高い民間  
設計業務とは違い、物備  
本に記載されている樹種  
からの樹種選択を強いら  
れる。物備本の樹種を選  
定しているが日本緑化セ  
ンター、または地方自治  
体緑地部会が多いが、他  
日本公園緑地協会への出  
前講演を積極的に引き、  
樹木に関する意識改革・  
最新情報の提供を行って  
ほしい。その結果、設計  
に組み込む樹種の選択肢  
が広がるのではないかと  
思うか。  
A2 生産者側のPR不足  
は、協会でも認識してい  
るので、今後同様な出前  
講演を行いたい。

閉会後の懇親会で  
は、昨今の設計業務  
や生産状況に関する  
意見交換の他、「今  
度は是非、現場を見  
ながらの質問もさせ  
て頂きたい。」との  
要望があり、十月開  
催予定の「新しい造  
園樹木の研修会」二  
内送付を約束した。  
また、造園業も協  
会員からは「協会  
(二級造園施工管理  
技士の会)での出前  
講演を提案して頂いた。  
今回は両協会各委員  
同士としての交流だった  
が、今後も「生産者から  
の生の声」を大切に、会  
員自身の広報スキルを  
磨きながら、委員会  
として生産育種の状  
況を把握し続ける方針  
を述べ、今後の協業や  
協会事業への発展する  
事を願っている。  
なお、今回のセミナー  
で利用したパワーポ  
イント資料は、新樹種  
部会でも活用可能であ  
る。使用希望の部  
会各位は事務局へお  
問い合わせ頂きたい。

Q3 十年前に発行された  
新樹種ガイドブックから  
卒業して物備本に掲載さ  
れるようになった樹種の  
数はどれくらいか?  
A3 定かではないが、約  
二〇種ではないかと推  
察する。本年十一月には  
新樹種ガイドブック改訂  
版を予定しており、個人  
庭園や公共施設などの  
記載も加えて発行予定  
である。  
Q4 設計見積もりがほ  
しい場合は、柏日本植木  
協会(問合せ)よりのか  
A4 使用現場の近くの協  
会に問合せ頂きたい。  
また、協会同士の情報  
交換は促進しているの  
で、問い合わせが増え  
ると、必要とされている  
樹種情報も多量に共有  
結果として必要とされて  
いる樹種の生産量を増  
やせることにつながる。  
といった質疑応答を行  
った。その他、個別の樹  
種の質問も多数あり、新  
樹種部会からの出席者が  
それぞれ質問に回答し  
て頂いた。

では、自由度の高い民間  
設計業務とは違い、物備  
本に記載されている樹種  
からの樹種選択を強いら  
れる。物備本の樹種を選  
定しているが日本緑化セ  
ンター、または地方自治  
体緑地部会が多いが、他  
日本公園緑地協会への出  
前講演を積極的に引き、  
樹木に関する意識改革・  
最新情報の提供を行って  
ほしい。その結果、設計  
に組み込む樹種の選択肢  
が広がるのではないかと  
思うか。  
A2 生産者側のPR不足  
は、協会でも認識してい  
るので、今後同様な出前  
講演を行いたい。

### 各界からみた緑化業界

#### 責任ある仕事をして植栽費を上げる運動を起こそう

社ランドスケープコンサルタンツ協会  
会長 大塚 守 康



我々緑に関わる仕事をしている者に、官民に関わらず、専門職としての自負と誇りが感じられない。都市環境や地球環境が注目されている中で、学々と繁る緑の創造主である社会に打ち出してこそ、専門職としての社会的地位も上がる。造園工と言えども緑が全ての基盤である。



25年ほど前、団地に若木で植えた雑木林です。今は現況林と変わらなくなりましたが、土壌への配慮が欠け、カブトムシの生息はありません。

実は、私の最大の関心は、植木というより、もともと環境の関心事が環境からより具体的な生物多様性へと移行する中で、植物とそれを支える土壌



五月十三日(土)午後六時より、年度第一回環境緑化樹木識別検定資格認定委員会が開かれた。

業界を商品として社会に売り出すセールスマンであってほしい。勿論、その仲立ちをするのがコンサルタンツであることを自覚する。とにかく緑に関する専門職が結集して、社会が注目し、われわれが誇れる圧倒的な緑を、モデル商品として造りだそう。

環境緑化樹木識別検定資格認定委員会開催  
五月十三日(土)午後六時より、年度第一回環境緑化樹木識別検定資格認定委員会が開かれた。

### 私の経験

#### 植栽の基本と考え方

東京農業大学名誉教授  
進士 五十八

#### 『植栽デザイン』の責任編集

誠文堂新光社に小原寛という編集者がいた。農大の先輩で、四十年前には、造園書を世に問うべく息を吐いていた唯一のひとであった。

私が助手になって間もなく『庭づくり植木いじり専科』(ガーデンライフ別冊)の前半を執筆しないかと誘われた。雑誌であれ若造に何章分かを任せたらうれしくなり結構新味のある商品として社会に売



私はしかし幾ら何んでも別に植物の研究室があるのだから、植物の先生を紹介して逃げた。ところが植物のデザインの原稿なんて書けないと断られてしまい、何んとかしてこれと、またおそろという水循環の庭などいろいろと提案した。これが縁で、今度は「農耕と園芸」の編集者が相談にきた。植物解説の本は多いがこれを活用するデザインの

植物で部屋をつくる  
プロの植物屋さんが必ずしも植栽デザインと手はいえない。たぐさんの種類管理の知識技術は現場でも

は、生物の多様性と密接な関係にある。また、土壌に含まれたいくつかの成分は、新鮮な空気やミネラルを運ぶ大地の血液である。このよきな視点で緑環境を見る

若とまでは床のじゅうたんの種類と用途の関係性を一目瞭然にする「緑の周期律表」をつくって植物に弱いひとを助けようとしたこと

### 緑化樹木の生産技術 第1集常緑広葉樹編

(財)日本植木協会企画・編集 平成元年9月初版)より抜粋

#### ウバメガシの水張り栽培(根回し)法

カシ類は根が水につかると根先きが腐り、根ぐされを起こす。この習性を利用して、一定の長さに根が伸びると水にあたって根先きが腐り、そのため根元から小根が出てくる特性を利用した根切り、根回し移植の方法である。その方法は図のように、6月下旬から8月下旬まで水張りを行う。水張りはカシ類の最生育期間のみがよい。このようにして生育した苗は移植にもよく耐え、枯死することなく、寒さにも強く、2月中旬からの取り扱いも可能である。

三好 武一 (兵庫県)

ウバメガシ  
水  
根本からよく小根がでる

### ご案内

#### 地域性苗木生産研究会 第5回勉強会

講演会開催のご案内

「設計者から見た生物多様性・地域性苗木について」  
「広葉樹の種苗の移動に関する遺伝的ガイドライン」

第5回勉強会は、樹愛植物設計事務所 山本紀久氏より、「設計者から見た生物多様性・地域性苗木」のご講演をいただき、生産者・設計者の立場から意見交換を行います。地域性苗木は、設計者との相互協力を深めて、事業化していかなければなりません。設計者側の意見を聞く為にも是非、御参加下さい。

また「広葉樹の種苗の移動に関する遺伝的ガイドライン」が森林総合研究所より発表され、その作成責任者 津村義彦氏に解説をお願いしています。

1. 日時: 平成23年7月20日(水)13時~17時(受付12時30分~)

2. 場所: 弘済会館(関東) TEL03-5276-0333  
東京都千代田区麹町5-11 (JR線:四谷駅 徒歩5分、地下鉄:麹町駅2番出口 徒歩5分)

3. 講演: 「設計者と地域性苗木」  
樹愛植物設計事務所 会長 山本紀久氏  
「広葉樹の種苗の移動に関する遺伝的ガイドライン」解説 森林総合研究所 森林遺伝研究領域 樹木遺伝研究室 津村義彦氏

4. 定員: 60名(先着順)

5. 会費: 2,000円(当日会場にて集金)  
(造園CPDプログラム登録)

の挨拶後、議事に入る。議事内容  
一、七月九日(土)「環境緑化樹木識別検定」試験実施について  
試験会場を東京農業大学に変更し、会場変更に伴い受験料を下げる案について、わかりやすい会場案内図、余裕を見た交通所要時間にして案内することで、実施が承認された。  
二、識別検定1級合格者への対応について  
(1)HPや緑化通信に掲載する提案は、本人の同意確認を条件に承認された。  
(2)携帯できる「認定証カード」発行・配付について  
は、協会内部での議論を深め、将来を見越した考えのもとに再提案を要請された。  
どのような資格も、自己点検、第三者評価が求められる時代になっている。

年間特集

生物多様性を考える

植木と生物多様性～みんなが元気になるまちづくり～

第4回

日本の事例

ビオトープを考える会会長 長谷川 明子氏



先日、京都のあるお寺に行きました。そこは、日本を代表するとても有名な寺院で私の大好きな場所です。参拝した後、お庭を歩いていると、おや？と思



白馬村山野草の取り組み



山野草と待つバス停



大都市の中の水田

想像させるのか、観光客の方々はきれいねと声をあげていました。ただ、少し考えてみて欲しいのです。きれいであれば、なんでも良いのでしょ

ゆえ、誤った自然観が植えつけられてしまったのです。桜堤と同じように、日本中

イなどができ、ハイヒールでも登ることができるようになりまし。しかし、ピー

たのです。「なんといいことでしょう」といって、白馬の山

川沿いの桜は、よくよく見ると川の水がきれい

近年高い山にロープウェーとどこかで大きく間違えてしまつ危険性があるのでは

その一つが、観光地の長野県白馬村です。数年前

歴史あるお寺に、ヒメソルトの花。これがこのお寺を見た人の記憶に残る風景となり、それが日本のお寺の「自然」の風景として

川沿いの桜は、よくよく見ると川の水がきれい土手の上であったり、コンクリート護岸などで川の水

科学技術が進み、苗木も高いビルの上でも大きく育つようになりまし。しか

また白馬には、この地域にしかない山野草があるじやないか！と自分たちの宝

最近では、大都市の中で水田や里山もどきの雑木林が高層ビルの谷間につく

『趣味の園芸』 7月放送予定

(NHKのご協力を得て掲載しています)

Table with 2 columns: 放送日 [再放送] and タイトル 講師. Lists garden programs for July.

8月放送予定

※8月28日は、協会員 山崎隆雄氏(株)ワイズプランツ・埼玉県)が出演予定

Table with 2 columns: 放送日 [再放送] and タイトル 講師. Lists garden programs for August.

郷を想つ気持ちが強くなり、そこに住む人たちの誇りへと

都会の人々に受け入れられている……つまり、「古くて新しい」それが日本の

次回も、古くて新しい、まさに価値観が変わりつつある中に、今私たちが生

お知らせ 庭園樹部会通常総会について 八月三日(五日)にかけて青森県にて予定して



人事異動

〔四月二日付、本報(関係分)〕
国土交通省
○都市・地域整備局
○大臣官房審議官(都市生活環境部)
小林昭(前都市・地域整備局公園緑地・景観課長)〔五月二日付、本報(関係分)〕
農林水産省
〔林野庁〕
○研究・保全課緑化資料班 環境緑化木係長 森美咲子(前山形県金山町役場)
○経営課 特別林緑地対策 種苗検査官 中尾光子(前研究・保全課 緑化資料班 環境緑化木係長)
〔五月十六日付、本報(関係分)〕
国土交通省
○都市・地域整備局
○公園緑地・景観課長 舟引敏明(前中国地方整備局建設部長)

植生調査拡大協議会
植生アドバイザー育成講座

8月31日～9月3日群馬県にて開催

植生調査委員会は、四月九日十四時から協公・会議室において、拡大協議会を開催した。出席者は講師の中村先生、福水先生、小室先生と下委委員長、葛西副委員長、山田、西野委員と事務局。会議は上委委員長挨拶の後、同委員長の司会により資料確認をして議事に入る。



植生調査拡大協議会

委員が前同議事録を参照して、事項の確認をしたのちに議事進行。
一、資料(セミナー時使用)と図書(基礎から応用)について
(1)セミナーの主任講師をAコースは福水先生、Bコースは中村先生、Cコースは福水先生が担当して、総合監修を中村先生にお願いする。
(2)テキスト作成について図書ではB・Cに付く際、人とのかわりを加えて人と自然をどうのよう理解するかを説明するため「植生環境の保全と植生単位に基づいた修復計画」を新たに設け四部構成とする。

セミナーでは安全講習をお願する。
(5)資料の事例研究はビシネスの現場の話も取り入れ、平田先生にも協力を願う。
(6)樹種決定に際し植物の技術が確立されていない部分が多く、バックボーン

が担当し、取り時期を明確にできるモニタリング書式を中村先生と葛西副委員長が担当して立案する。
(7)植生復元には最初に植栽ありきで、一般的な植物群落を基本に計画してゆくと定。
(8)モニタリングを行うことは、目標群落に向かってゆくのかを評価するのが検査と位置付けられている。群落としての目標に向かっていくかどうかの途中段階でのモニタリングが必要で、現状は樹木としてのモニタリングはしているが、群落としてのモニタリングはされていない。
(9)モニタリングの過去四年間の結果をデータでまとめるため、葛西副委員長が過去の記録をデータ化しCコースに利用する。また、Cコースはデータのまとめた結果の説明をしたのちに講義に入る。

植生アドバイザー育成講座
(10)植生復元の決定は、中村先生、福水先生、小室先生

指図性が判明する。
(11)植生復元候補と本会供給可能調査結果(在庫量)が読み合おうと、修了生が設計の参考となる。
(12)樹種リストの提出期限はセミナーで使用するため、八月十五日までに提出願う。また、認定試験に出題予想がされる場合は、本年度の予想植栽の記載をお願いする。
(13)試験合格者のネットワークを構築し、各種の情報交換の場とする。
(14)ノウハウの積み重ねの場としたい。
(15)今年度、川場で使用される資料の図表等については、提出した資料をそのまま印刷して簡易製本して使用する。内容は植生管理士の試験テキストの問題範囲とする。
二、平成二十三年セミナー(Cコースほか)のカリキュラム・募集について
(16)Cコースは、新規植栽が無ければ現状調査と期間内で可能な管理作業を行い、事前にスタッフが草の刈り払いをするのでなく、あるがままの現況を見てもらうことも必要。
(17)植生は計画を立てた年度に実施することが理想だが、カリキュラム上難

理な場合は、モニタリングの考察から今年度の補植計画をどのように決定したかを説明することも、昨年までのような経過をたどったかを説明する。
(18)Aコースの野外研修場所はCコースのモデルとなる場所が望ましく、仙霞峠を研修場所としたい。
(19)カリキュラムの日時、担当、内容を検討・修正した。
三、植生管理士認定試験について
(20)認定試験の名称は「植生管理士認定試験」とする。
(21)日程は十月十六日(日)に東京農大にて開催し、前日の十五日(土)日に講習を行う。
(22)セミナー募集要項に講師の略歴を記載する。
(23)認定委員会、中村先生、福水先生で組織し、委員長は中村先生にお願いする。
(24)受講者募集先のアイディアを協議し、緑化工学人のM1利用、総研としての農大活用等意見が有った。(定数や条件等)ニューズレターの利用

「植生アドバイザー育成講座
これまでの経緯と今後の展望」
植生調査委員長 上条祐一郎

これまで「委員会より」で各委員会の活動紹介を掲載していましたが、タイトルを「思い」と改め、各事業を担う委員長の事業に対する思い・願い・展望などを語っていただくコーナーとしました。今回は、八月三十一日～九月三日で植生アドバイザー育成講座が開催される植生調査委員会委員長の「思い」です。



①「講義風景」



②「森林の冠層構造を調べる植生調査」



③「モニタリング」

ら私が委員長をさせていたれから増え、ゆくゆくは植生復元・環境修復の工事に、植物のプロである私たちが計画立案から関わる能力を持つことを目的としてつ前に進んでいるところであります。
さて、植生復元の私たちが、なぜ「植生」を学ぶ必要があるのか、という点について、疑問を全て時々にしま

で、発注を受けたわれわれ生産者が材料調達に責任を負う……そんな状況を、思いも

(7面へ続く)

「植生アドバイザー育成講座
これまでの経緯と今後の展望」
植生調査委員長 上条祐一郎

お知らせ

植生アドバイザー育成講座参加者募集
植物の特性を熟知している植木の生産・流通に携わる我々が、里山の自然回復工事や、都市緑化における環境設計においてプランニングの段階から適切な知識を駆使して日常業務にその内容を提案することを目的として、そのための能力を段階的に習得するようにカリキュラムが組まれております。
セミナーでは植生学の基礎を学んだ上に、実際に野外で植生調査を行い、そのデータから植生計画を立案し、過去の植生場所のモニタリングを行ったり、試験地にて植栽をして、現場でできる能力を持つことにより、業界における地位向上と地域社会への貢献を目指すものです。ぜひこの機会に参加されたい。
コースはA、B、Cの三コースからなっており、毎年コースを受講して三年で修了することになります。なお、本事業は、環境省と農水省共管の「人材認定等事業」の育成事業として登録されており、詳細は環境省HPの<http://www.env.go.jp/policy/edu/edu/3/3.htm>を参照下さい。
日時 平成二十三年八月三十一日(水)～三日(土)
場所 群馬県利根郡川場村 世田谷区民健康センター
講師 東京農業大学 教授 鈴木伸一氏
東京農業大学 教授 中村幸人氏
東京農業大学 准教授 福水健司氏
ほか
費用 日本植木協会員 五三、〇〇〇円
その他の方 五八、〇〇〇円

## うえき・よろず相談

### 質問「植木の輸出入動向について教えてください」

【回答】

日本での植物の輸出入は、江戸時代末に有名なシーボルトが日本産植物の多様さをヨーロッパに伝えたことから始まったといえるでしょう。その後、植物の種類だけでなく、庭園文化に培われた庭園樹(仕立もの、曲げもの)が樹芸としても評価され、日本の植木は、世界中から憧れの眼差しで見られるようになりました。昨今では日本庭園用の植木が冷蔵海上コンテナで大量に輸出されるようになり、世界から注目されています。

植木は生き物なので、輸出入の際には規定の植物検疫を受ける必要があります。日本へ輸入する場合は、原則、土を洗い落として、無病虫害の植物であることが必要です。根洗いということから、海外で育種された新品種の苗木が輸入されています。

輸出の場合も多くの国が土付きを禁止していますが、ヨーロッパ(EU)等へは、土付きの植木や盆栽(無土壤中センチウ)の輸出が許可されます。これにより、10mを超えるヤマボウシや葉張3m近いキャラの仕立ものなどが、海を越えて海外の日本庭園に植栽されています。

ヨーロッパの方に魅力を同うと、日本は南北に3000km以上と長く、多種多様な原種が自生し、かつそこからモミジやアジサイなどの園芸品種が多彩に分化していること。四季折々の日本の風土と調和した庭園文化・樹芸が確立していること。庭園樹や雑木が販売用として、しっかり生産されており、輸出技術(荷造り、消毒、法律書類、海上輸送など)に何の心配もいらぬこと、を挙げておられました。

今後も日本の国土と先人たちが創り上げた植木文化を大切に、その魅力を世界の方々に紹介することで、植木の輸出入は一層盛んになることと思います。 回答協力: 埼玉県 栃栗原緑地 栗原隆治氏

うえき・よろず相談では、質問・疑問を募集中!  
日頃不思議に思っていること、困っていること、聞いてみたいことなどが解決できる好機会!ご自由にお寄せ下さい。  
下記の質問へのご回答も広く募集中です!  
8月号質問 → 「ハマキムシの防除方法を教えてください。」  
回答締切7月29日  
※植木協会ホームページ・会員限定情報・掲示板でご投稿いただくか、事務局緑化通信担当(kawamura@ueki.or.jp)までお寄せください。

(6面から続く)  
るという点なのです。自生地を知り、適した環境を知り、同じ環境で育つ植物の組み合わせを知り、遷移の長い時間の中で位置づけを知る。今まで「どういうものか」と深く考えなかったその植物の性質までもが、「植生」をキーワードにしてすっきりと理解できたのです。

おかげさまでこの講座は、この八年間でA〜B〜C各コースのべ二九名の受講生と、全コースを履修した卒業生五〇名を輩出しました。近年は一般にも募集を広げ、森林組合、設計コンサルタン、役所、NPO法人など、幅広い分野からの応募をいただき、人材相互の交流にも役立っています。現在次のステップとして、講座で学んだ方などが植生復元のプロとして活躍する



#### 協会推薦図書紹介

推薦: 日本植木協/日造連/日造協

植栽のレパートリーを増やす木々を  
発掘!  
木を選ぶ『野田坂 造園樹木事典』

野田坂伸也 略歴  
1941年岩手県一戸町に生まれる。東京大学造園学教室卒業。大学助手を経たのち、小岩井興牧園に入社。緑化部門や、研究開発部門で汚水の自然浄化、堆肥製造、小果樹の栽培、ツツジ・シャクナゲの育種などに携わる。興野田坂緑研研究所を設立、コンサルや庭園設計・工事を行う。

定 価 15,000円(税込)  
上装・85版約48660頁  
会員割引 14,000円(税込)

#### ＜主な内容と特徴＞

- 名前でさがす(索引編) ●木を選ぶ(選択編) ●1612種類の扱い方(辞典編) ●モノクロ細密画約1000点入り ●読みやすいてか文字
  - Webサイトと連携した辞典「花ベディア」
- 注文申込は、FAXにてアポック社まで。  
ご注文の際は、植木協会会員を明示してください。  
ノ切りは10月末日。  
小部数出版のためお早めにお申し込みください。  
申込者住所・氏名・電話番号  
申込年月日:平成/年/月/日

#### 株式会社アポック社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-13  
Tel: 0467-45-5119/Fax: 0467-45-6591  
Webサイトからもご注文いただけます。  
http://www.aboc.co.jp

ための資格制度づくりを進めています。この名称を「植生管理士」といい、「樹木医」や「森林インストラクター」などのように社会的に認められる資格を目指して申請する予定です。

今年度からは親協会からも予算をいただくことになり、一層の責任を感じています。まだまだこの講座にご参加されていない会員の方々もいらっしやいますので、どうぞこの機会に新しい扉を開けていただきますよう、よろしくお願ひします。

#### 植生調査セミナー修了者リスト

平成15年にスタートした植生調査セミナーは、同19年からは東京農業大学・みどりの環境創造研究会と共催しており、この間には平成18年を初年度に昨年までに下記の方々3年間のコースを修了されております。現在は環境省と農水省共管の人材認定等事業に登録されており、今年も別掲のとおり8月31日から9月4日にかけて開催されますので是非受講されますようお願いいたします。

氏名	社名
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	酒井園芸
清瀬 毅	清瀬園芸
石川 浩司	石川浩司園芸
吉澤 信行	小川園芸
中山 宏樹	中山園芸
村田 利博	村田園芸
清水 洋樹	清水園芸
加藤 昌彦	加藤園芸
酒井 良輔	

# 地球の歴史を学び地球を守ろう in 今治自然塾

## 西坂 哲 紀

(株大西屋・愛媛県)

グリーンウェイブ2011 参加事例②

今春、愛媛県今治市にある今治自然塾の環境プログラムが一部もたじろいでいます。今治市環境教育プログラムは、この富良野自然塾の企画協力、監修のもとつくられました。

プログラムの内容は、誕生から四十六億年といわれ



今治自然塾の環境プログラム 460mの地球の道を歩きながら地球の未来を考える



緑育出前実行委員会委員長加藤氏による授業 B3用紙のわかりやすい絵と巧みな語りかけ

多様性の日である五月二十二日(日)が日曜日であるというところで、五月二十二日に書けませんが、子供向け

地球の歴史を、四六〇mの地球の道になぞらえて、インストラクターと一緒に歩きながら、地球の環境問題について考えるものとなっています。北海道の富良野自然塾に一度参加したことがあったのですが、子供から大人まで楽しみながら学べる内容でした。今治に出来たこの機会に、ぜひ協会の皆様、またお子さんやお孫さんにも参加していただきたいと思います。中国・四国ブロック青年部会が中心となつて企画

多様性の日である五月二十二日(日)が日曜日であるというところで、五月二十二日に書けませんが、子供向け

環境プログラムの内容は、ネットパレになるので、あまり使っていない紙を使っています。最初は聞いていた子供たちも、途中で少く内容が難しいのか、低学年から下の子は、芝生の中の四つ葉のクローバー探しに夢中です。(まあこれも一つの緑育授業かなと思います)授業を聞き続けたら、知らない間に、子供たちよりも大人の方の方がより真剣に聞き入っています。わかりやすい手書きの絵と、加藤先生の巧みなトークによって、飽きることもなくあっという間に一時間の授業、終了です。さすが委員長をされているだけの腕の持ち主です。子供から大人まですっかり加藤ワールドに引き込まれ、楽しい一時間の授業となりました。加藤先生ありがとうございました。



グリーンウェイブ2011記念植樹世界に広がる緑の波の一部を作りました

100本完植して、最後は笑顔で記念写真

地球温暖化になるの？

①どうして地球温暖化になるの？

②生物多様性ってなに？

③私たちがどうしたら良いの？

という内容で授業が始まりました。

でも子供たちは一生懸命で頑張ってくれて、何とか一〇〇本完植です。皆さんお疲れ気味でしたが、最後は記念写真を笑顔でとることができました。

私の取りが急ぐ、ブロック会員への案内も遅くなりがたうが、研修会になりました。皆さんのご協力により、充実した研修会になりました。全く一人では何もしないことを痛感します。

動かし作業をする段階で、明らかに子供たちの雰囲気が変わりました。体験する内容が多かったのは良かったと思います。

講義については、リハールを行つたため、時間通りに進めることが出来ましたが、テキストは小学四〜六年生を対象として構成しましたが、直前に募集対象を小学一年生から広げたいため、難しかったかもしれませんが、なんとか乗り越えました。

緑育出前実行委員会から五万円の補助と、記念植樹実行委員会から樹木代(記念植樹プレートを含め上限五万円)の補助を頂きました。持ち出しはもちろんです。しかし補助金の制限を意図すると、イベントが小さくなってしまいがちです。内容も、何かあったら支部で負担する精神で行いました。

協会に対する要望をお聞かせください。

協会がどのようにグリーンウェイブを推進していくのかその方向性や本気度がわかりませんでした。また、生物多様性事務局・グリーンウェイブ2011の英語版のホームページの運用方法、登録マニュアルや登録作業など、協会のフォローがあるとうれしいです。

記念植樹申請については、現行では申請者が会員であることが必要なのではないかと感じました。今回のように営利目的ではなく緑育出前授業と併進する場合は、会員からの申請も認めていただければ良いと思います。また、樹名板の仕様など、選んでくれると良いと思います。

### 「24年版協会オリジナルカレンダー」の申込み開始!

特徴：1-2月頁で協会認定名木を掲載。3-4月頁はモクレン特集。

価格：.330円/1部(最小ロット10部、別途送料)

申込締切日：8月16日(火)

※大口注文者への割引や名入れ等についての詳しい内容及び申込用紙はホームページをご覧ください

表紙2つ折 B3判 (イメージ図)

1月・2月 B3判 (イメージ図)

※現在製作途中につき、写真は一部変更になる場合がございます

かと思いきや、大人の方が地球環境問題について考えさせられる内容でした。親達は、真剣にインストラクターの話に聞き入っていました。しかし、子供、特に低学年からは、最初の三分は何かと寝てしまいましたが、バツヤやテントウムシを捕まえるのに夢中になりました。知らない間に、子供たちよりも大人の方の方がより真剣に聞き入っています。わかりやすい手書きの絵と、加藤先生の巧みなトークによって、飽きることもなくあっという間に一時間の授業、終了です。さすが委員長をされているだけの腕の持ち主です。子供から大人まですっかり加藤ワールドに引き込まれ、楽しい一時間の授業となりました。加藤先生ありがとうございました。

生物多様性について学んだところで、いよいよ最後のグリーンウェイブ2011記念植樹です。

近くの山の自生種、アラカンやタブノキなど一〇種一〇本ずつで合計100本用意しました。植木生産のプロの集まりといふことで、あっという間に終わるといふ予期のもと一〇〇本用意していたのが、誤算でした。思いの外大変でしたが、それ

グリーンウェイブと緑育は一体となったグリーンウェイブに参加して

五月二十七日(金)午後からの青年部会関東支部通信プログラム(青年部会)のために来局された神奈川支部役員3名の方々(青年部会長・近藤隆太郎氏、神奈川支部長・鈴木寿郎氏、支部役員・漆原陽平氏)に座談会方式で今回のイベントについて伺いました。午前十一時より、協会会議室にて

座談会出席者(グリーンウェイブのほりと共に)間の緑への意識は想像以上に高く、また土日に習い事をする子供も多いため、最後まで人集めには苦労しました。ですが、世のかその方向性や本気度がわかりませんでした。また、生物多様性事務局・グリーンウェイブ2011の英語版のホームページの運用方法、登録マニュアルや登録作業など、協会のフォローがあるとうれしいです。

記念植樹申請については、現行では申請者が会員であることが必要なのではないかと感じました。今回のように営利目的ではなく緑育出前授業と併進する場合は、会員からの申請も認めていただければ良いと思います。また、樹名板の仕様など、選んでくれると良いと思います。

グリーンウェイブと緑育は一体となったグリーンウェイブに参加して

五月二十七日(金)午後からの青年部会関東支部通信プログラム(青年部会)のために来局された神奈川支部役員3名の方々(青年部会長・近藤隆太郎氏、神奈川支部長・鈴木寿郎氏、支部役員・漆原陽平氏)に座談会方式で今回のイベントについて伺いました。午前十一時より、協会会議室にて

座談会出席者(グリーンウェイブのほりと共に)間の緑への意識は想像以上に高く、また土日に習い事をする子供も多いため、最後まで人集めには苦労しました。ですが、世のかその方向性や本気度がわかりませんでした。また、生物多様性事務局・グリーンウェイブ2011の英語版のホームページの運用方法、登録マニュアルや登録作業など、協会のフォローがあるとうれしいです。

記念植樹申請については、現行では申請者が会員であることが必要なのではないかと感じました。今回のように営利目的ではなく緑育出前授業と併進する場合は、会員からの申請も認めていただければ良いと思います。また、樹名板の仕様など、選んでくれると良いと思います。

座談会出席者(グリーンウェイブのほりと共に)間の緑への意識は想像以上に高く、また土日に習い事をする子供も多いため、最後まで人集めには苦労しました。ですが、世のかその方向性や本気度がわかりませんでした。また、生物多様性事務局・グリーンウェイブ2011の英語版のホームページの運用方法、登録マニュアルや登録作業など、協会のフォローがあるとうれしいです。

記念植樹申請については、現行では申請者が会員であることが必要なのではないかと感じました。今回のように営利目的ではなく緑育出前授業と併進する場合は、会員からの申請も認めていただければ良いと思います。また、樹名板の仕様など、選んでくれると良いと思います。



座談会出席者(グリーンウェイブのほりと共に)間の緑への意識は想像以上に高く、また土日に習い事をする子供も多いため、最後まで人集めには苦労しました。